

## 6 その他国有林野の管理経営

### (1) 人材の育成

東北森林管理局では、「国民の森林」である国有林野を適切かつ効率的に管理運営し、森林に対する国民の意見を的確に把握し経営感覚に優れた人材の育成を図るため、新採用研修、民間派遣研修等各種研修やOJT<sup>注)</sup>を実施しました。

#### 白神山地で海外技術研修の実施

平成19年10月、林野庁森林技術総合研修所が実施する「海外技術研修」が白神山地で行われました。

インドネシア、コロンビア、マラウイなど11カ国の森林・林業関係の政府職員の方々が研修生として持続可能な森林経営の実践手法を習得するため訪れました。世界遺産白神山地の核心地域と緩衝地域の考え方やブナの更新方法などについて、質疑応答が行われた後、ニツ森登山を行い、岩木山や白神岳などの雄大なブナ林を目の当たりにして感激する人もいました。



藤里森林センターで行われた質疑応答



ニツ森山頂にて

場 所：秋田県藤里町（藤里森林センター）

## (2) 林業技術の開発普及

東北森林管理局では、森林技術センターを中心に、地域の特性に応じた林業技術の開発に取り組んでいます。

取組成果については、国有林野の管理経営に活かすとともに、現地検討会等を通じて地域の林業関係者等への普及に努めています。

平成19年度は、研究機関や大学等とも連携しながら、森林施業方法や効率的な作業道等の作設技術の研究等、11の技術開発課題に取り組みました。

### 技術開発の取り組み

項 目	主 な 内 容	課 題 数
水土保全を重視した森林施業及び保全技術	○広葉樹施業体系の確立 ○列状間伐等林分の混交林化に関する施業体系の検討	4
資源の循環利用・有効活用技術の研究	○ヒバ天然林施業の調査データ収集と解析 ○ヒバの巣植え <sup>(注)</sup> によるヒバ・広葉樹混交林施業の確立	4
効率的な森林管理及び健全な森林育成技術の研究	○スギ若齢人工林のヒバ混交林への誘導 ○人工林に侵入する広葉樹との針広混交林施業の検討	3
課題数合計		11

### アカマツ林における森林施業の技術交流会

久慈支署管内の人工林の過半数を占めるアカマツが、25～45年生のものが9割とそのほとんどが間伐の時期を迎えている中、久慈・閉伊川流域では、「アカマツの復権とブランド強化」に取り組まれています。

このため、アカマツの資源の充実、地域産業の活性化を一層推進させるため、久慈・閉伊川流域活性化センターと連携を図り、森林施業の国有林・民有林それぞれの現地を見ながら技術交流会を行いました。交流会には、久慈・閉伊川流域森林林業活性化センター構成員、県・市町村の担当者や林業事業体等の林業関係者約40名が参加し、アカマツ林における民有林・国有林の森林施業の技術・知識の交換が行われました。



現地で説明する様子



意見交換会の様子

実施場所：岩手県久慈市 北野山国有林(三陸北部森林管理署久慈支署)



### (3) 地域振興への寄与

東北森林管理局では、計画的な木材の供給、事業の民間委託を通じた事業者の育成や就労の場の提供、国有林野の貸付けや売払い、森林空間の総合利用、分収林制度の活用、流域管理システムの推進等を通じて、地域産業の振興、地域の活性化、住民の福祉の向上等に貢献しています。

#### 鉱山跡地の森林再生による地域の振興

盛岡森林管理署では、旧松尾鉱山の煙害等により植生が衰退していた赤川山国有林において、東北地域環境計画研究会、いわてNPOセンター等と連携して森林再生に取り組んでいます。

平成19年度には、これまで緑化を実施してきた箇所の現地検討会を開催するとともに、公募によって参加者を募り、植樹活動を実施しました。



緑化を実施してきた箇所の現地検討会



公募により募った参加者による植樹活動

場 所：岩手県八幡平市 赤川山国有林(盛岡森林管理署)

## 十和田市環境緑化まつり

十和田市は、緑と太陽の町をキャッチフレーズに「環境緑化まつり」を毎年実施しています。このため、十和田市民は緑に対する意識が非常に高く、毎年多くの市民で賑わっています。

三八上北森林管理署では、森林・林業の重要性や森林管理署の業務等をPRするため、上北地方林業振興協議会等の各団体と連携し、木工品等の展示や新庁舎のパネル展示、キノコの菌打ち体験等を実施しました。



キノコ菌打ち体験



新庁舎のパネル展示

場 所：青森県十和田市（三八上北森林管理署）

## 地域住民に対する国有林のPR

三陸中部森林管理署では、地域の皆さんに国有林の森林づくりや生産された丸太がどのようにして製品となり市場へ出されているかなどを理解していただくために見学会を実施しました。

生産請負現場では、森林の地球温暖化防止機能や間伐の必要性などを説明し、チェーンソー伐倒、トラクタ集材、プロセッサ<sup>注</sup>造材、フォワーダの運材など丸太が生産されるまでを見ていただきました。また、住田町木工団地でプレカット工場など木材が加工される過程などについても見学していただきました。



生産請負箇所の見学

場 所：岩手県陸前高田市 舛内国有林（三陸中部森林管理署）